

令和 8 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験

一次試験・専門科目問題

（ I ） 東南アジア地域研究専攻

以下の設問 1、2 について、それぞれ 800 字程度で解答しなさい（ローマ字で解答する場合には字数制限を設けません）。また、設問ごとに別の解答用紙を使用し、設問 2 については選択した記号（a、b、c）を解答用紙に記入しなさい。（各 50 点）

設問 1．あなたが東南アジアに関する特定のテーマについて研究計画を立てるとした場合、どのような問いを設定し、どのようなアプローチで研究を進めたいですか。その研究が東南アジア地域研究にどのように貢献できると考えますか。自由に論じなさい。

設問 2．以下の a、b、c からひとつを選び解答しなさい。

- a．東南アジアの生物多様性の特徴を、具体的な生態系（例：熱帯雨林、マングローブ林、サンゴ礁など）をあげて説明しなさい。その多様性が地域にもたらす恩恵と、現在直面している主な脅威についても論じなさい。
- b．東南アジアの国・地域において気候変動や自然災害によって生じている問題と、その地域における政治や経済との関わりについて具体的に論じなさい。
- c．外文明と内世界の相互交渉によって成り立つ東南アジア世界の独自性を、具体的な事例をとりあげつつ論じなさい。

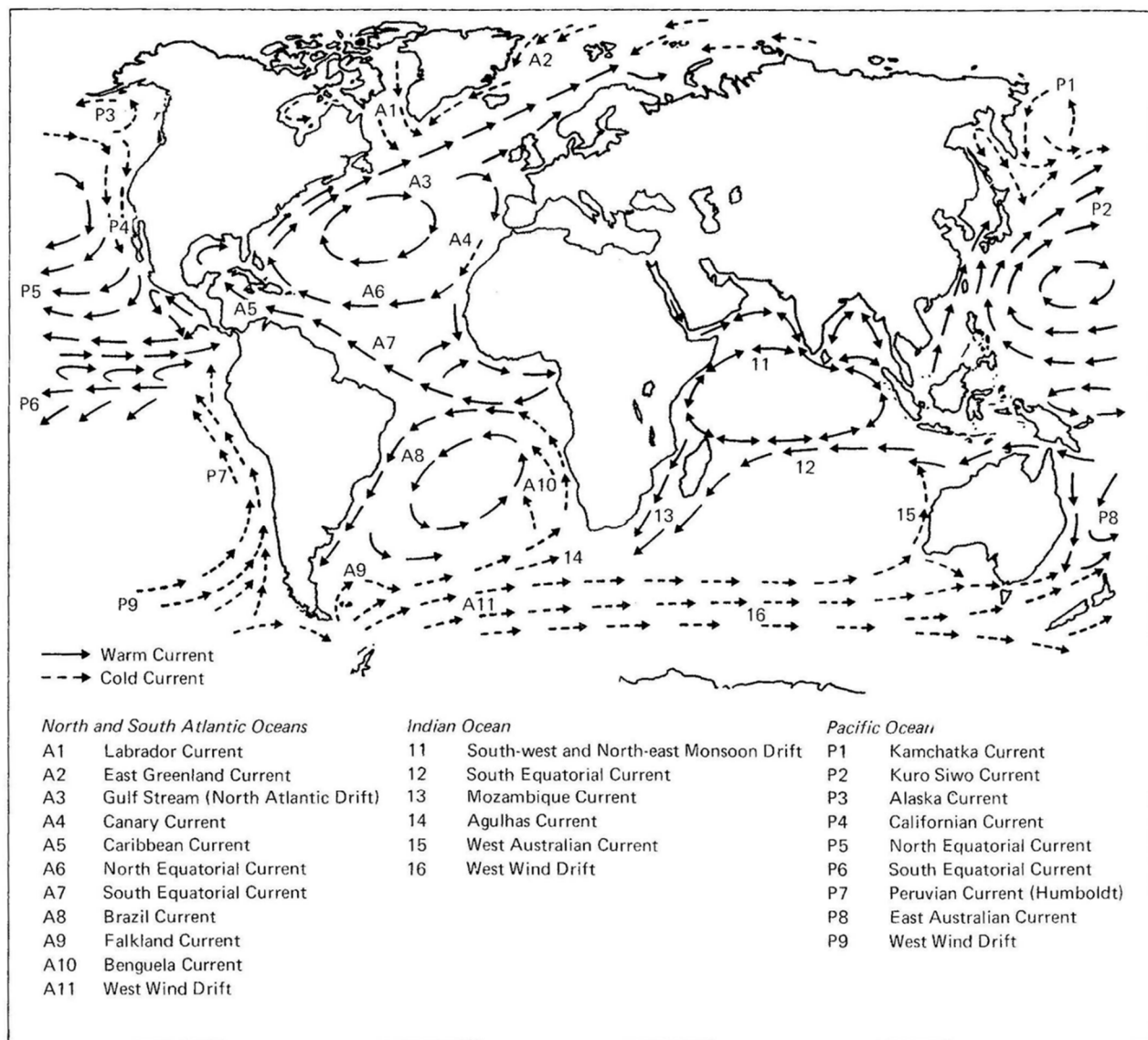
令和 8 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

（Ⅱ）アフリカ地域研究専攻

問題：以下の設問 1～6 から 2 問を選択して解答しなさい。設問ごとに別の解答用紙を使用し、それぞれの解答用紙には選択した設問番号を記入しなさい。（各 50 点）

1. サハラ以南アフリカにおける宗教と政治の関係性について、具体的な事例を挙げて論じなさい。取り扱う地域や時代については問わない。
2. 以下の生態学的調査法から二つを選び、手法の概略と注意すべき点について述べなさい。
1) ラジオテレメトリー法、2) シードトラップ法、3) ライントランセクト法、
4) 標識再捕獲法、5) カメラトラップ法
3. サハラ以南アフリカでは、肺炎、下痢、マラリアが深刻な健康問題となっている。その背景と予防上の課題について、知るところを述べなさい。ただし、取り上げる疾病は全てでも一部でもよい。
4. ライフヒストリーという手法についてその特徴を述べたうえで、アフリカにおける具体的な研究事例をもとに、その手法の可能性と限界について論じなさい。
5. 「難民条約」について解説し、それと関連付けながらアフリカの難民が置かれた状況と国家の課題について具体的な事例にもとづいて論じなさい。
6. 次頁の図は地球上の海流を示した概略図である。この図を用いて、アフリカ大陸の自然や歴史、生業、産業などについて自由に論じなさい。ただし、取り上げるのは大陸全体でも、一部の地域でもよい。海流の名称は英語表記のままでよい。



(出典 : White, R. 1990. *Africa in Focus: A Physical, Human and Economic Geography*. Macmillan Press. p.122)

令和 8 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

（Ⅲ）グローバル地域研究専攻（平和共生・生存基盤論）

設問Ⅰ．次のトピックのうち 2 つを選んで、それぞれについて説明しなさい。トピック毎に別の解答用紙を使用し、それぞれの解答用紙には選択したトピックの番号を記入しなさい。（各 20 点）

1. トマ・ピケティと社会主義
2. 民主主義
3. ザカートと個人主義
4. 国際政治におけるリベラリズム
5. 経済成長と SDG s
6. 想像の共同体

設問Ⅱ．次の 2 つの問題のうち 1 つを選び、解答しなさい。解答用紙には選択した問題の番号を記入しなさい。（60 点）

1. 非暴力主義の現代的意義について論じなさい。
2. 「資本主義は最悪の経済システムである。ただし、過去の他のすべての経済システムを除いては」という言い回しの意味するところを説明した上で、この言い回しの妥当性について論じなさい。

令和 8 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験

一次試験・専門科目問題

(IV) グローバル地域研究専攻（イスラーム世界論）

設問Ⅰ．次の言葉のうち、2つを選んで、それぞれについて説明しなさい。解答ごとに別の解答用紙を使用し、それぞれの解答の第1行目には選択した言葉を記入しなさい。（各 25 点）

イスラーム開発銀行

ジャマールッディーン・アフガーニー#

第3次中東戦争#

ハキーク・ムハンマディーヤ#

馬聯元

フジュム

マハティール・ビン・モハマド

設問Ⅱ．現代社会では、資源、環境ガバナンス、情報環境、コミュニケーション、障害者、女性・子ども・若者、経済的弱者やマイノリティ、難民など、グローバルな問題群が山積しています。これに対してイスラーム世界研究からどのような知的貢献ができるか、具体的な事例を取り上げて論じなさい。設問Ⅰとは別の解答用紙を使用しなさい。（50 点）

令和 8 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

（Ⅴ）グローバル地域研究専攻（南アジア・インド洋世界論）

設問Ⅰ．次の用語のうち 2 つを選び、それぞれについて簡潔に説明しなさい（用語 1 つにつき、字数は 200 字から 250 字程度とします。ローマ字で解答する場合には字数制限は設けません）。2 つの解答を、同一の解答用紙に記入しなさい。それぞれの解答の第 1 行目には、選択した言葉を記入しなさい。（各 20 点）

カシミール問題、セキュラリズム、スワラージ、ギグエコノミー、里山、
ドミナント・カースト、平行イトコ婚、USAID、名誉殺人、
不可触制（untouchability）

設問Ⅱ．下記の設問のうち 1 つを選び、論じなさい（字数は 800 字以上とします。ローマ字で解答する場合には字数制限は設けません）。解答用紙には選択した問題の番号を記入しなさい。（60 点）

1. 「近代」と「伝統」の関係について、あなたの研究関心と関連づけながら論じなさい。
2. 「制度化された宗教」と「制度化以前の宗教」の関係について自由に論じなさい。なお、解答に際しては南アジアの文脈にこだわる必要はありません。
3. 南アジア地域において「開発」が直面してきた困難や課題について論じなさい。

4. インドの初代首相 J・ネルーは、インド独立前年に刊行された *The Discovery of India* (邦訳『インドの発見』) において、「民主主義を社会主義に結びつけるにはどうしたらいいか、個人の自由と創意を保ちながら、しかも国民の経済の中央集権化された社会統制と計画化を、国内的にもまた国際間にも、行うにはどうしたらいいのか」と述べています。独立後、ネルーはこの課題を具体的にどのような政策として実行していくのでしょうか。内政、外交の両面について論じなさい。

(出典：J・ネルー『インドの発見』下、辻直四郎、飯塚浩二、蠟山芳郎訳、岩波書店、1956 年、767 頁より一部改変して引用)

令和7年度（第2回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験

一次試験・専門科目問題

アフリカ地域研究専攻

問題Ⅰ：設問1および設問2をすべて解答しなさい。解答は2問とも同一の解答用紙を使用し、問題番号記入欄には「Ⅰ」と記入しなさい。

1. 次の表のA～Eに当てはまるサハラ以南アフリカの国名を答えなさい。（20点）

順位	絶滅危惧 哺乳類 種数	平均降水量 (mm/年)	名目 GDP (米ドル)	森林面積 (km ²)	1人あたり 名目 GDP (米ドル)	人口
1	A	サントメ・ プリンシペ	D	C	セーシェル	D
2	カメルーン	シエラレオネ	E	アンゴラ	モーリシャス	B
3	タンザニア	リベリア	B	タンザニア	ガボン	C
4	B	セーシェル	ケニア	ザンビア	赤道ギニア	タンザニア
5	C	赤道ギニア	ガーナ	モザンビーク	ボツワナ	E
6	コートジボワ ール	モーリシャス	コートジボワ ール	ガボン	E	ケニア
7	D	ガボン	タンザニア	中央アフリカ	ナミビア	ウガンダ
8	ウガンダ	ギニア	アンゴラ	コンゴ共和国	エスワティニ	スーダン
9	ギニア	コンゴ共和国	C	D	カーボベルデ	アンゴラ
10	ケニア	カメルーン	カメルーン	カメルーン	コートジボワ ール	ガーナ

出典：World Development Indicator, World Bank. <https://databank.worldbank.org/>

絶滅危惧哺乳類種数（IUCN レッドリストカテゴリーの深刻な危機[CR]、危機[EN]、危急[VU]に該当する種数）の順位は2018年、平均降水量の順位は2020年、それ以外の順位は2021年のデータに基づく。

2. 実験室でおこなう研究と比較しながらフィールドワークの特徴をあげ、その可能性と限界について論じなさい。（30点）

問題Ⅱ：以下の設問 1～4 から 1 問を選択して解答しなさい。問題Ⅰとは別の解答用紙を使用し、問題番号記入欄には「Ⅱ-○」（○は選択した設問番号）と記入しなさい。（50 点）

1. サハラ以南アフリカでは様々な植林活動がおこなわれている。それらの活動について知るところを述べ、その功罪について論じなさい。
2. サハラ以南アフリカの社会ではどのように「平等」を実現しようとしてきたか、具体例をあげて論じなさい。
3. 人間・動物・植物などの三者（あるいはそれ以上の）関係を記述・分析するさいに、ランドスケープという概念をどのように活用できるかについて論じなさい。なお、冒頭でランドスケープの意味するところを述べなさい。
4. 近年、サハラ以南アフリカでクーデタが頻発しているが、その国際的要因や地獄的背景について論じなさい。

令和 7 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

（ I ） 東南アジア地域研究専攻

問題：以下の設問 1～6 から 2 問を選択し、それぞれ 800 字程度で回答しなさい（ローマ字で回答する場合には字数制限は設けません）。また、設問ごとに別の解答用紙を使用し、それぞれの解答用紙には選択した設問番号を記入しなさい。（各 50 点）

1. 東南アジアの国あるいは地域におけるカーボンニュートラルに関する取り組みについて事例を挙げて説明しなさい。
2. 東南アジアの国あるいは地域において、気候変動によって生じている問題について、自然環境および地域社会との関係から論じなさい。
3. 現在の東南アジア地域では多くの住民が外来の宗教を信奉している。そのような宗教をひとつ取り上げ、現地社会における受容と独自の発展の歴史について論じなさい。
4. 東南アジアから 2 つの国を選び、欧米による植民地支配が民族意識の形成に与えた影響について比較しながら論じなさい。
5. 人口の高齢化と地域社会との関係について、東南アジアの国あるいは地域における特定の事象を取り上げて、具体的に論じなさい。
6. 東南アジアの国あるいは地域においてみられる特定の食物・食料を取り上げて、その生産・流通・消費などの特徴を、経済発展、あるいは自然環境や文化に関連付けて、自由に論じなさい。

令和 7 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

（Ⅱ）アフリカ地域研究専攻

問題：以下の設問 1～6 から 2 問を選択して解答しなさい。設問ごとに別の解答用紙を使用し、それぞれの解答用紙には選択した設問番号を記入しなさい。（各 50 点）

1. 下の図は地球上の大気循環を示した概略図である。この図を用いて、アフリカ大陸の気候や植生、人びとの生業や暮らしなどを自由に論じなさい。ただし、図中の英語をそのまま使用してもよい。



（出典：Aryeetey-Attoh, S. 2010. *Geography of Sub-Saharan Africa*. 3rd ed. Pearson Education. p. 42） [Figure3.7]

2. アフリカをアジアとの関連でとらえる視点の意義と問題点を、具体的な事例を一つ以上挙げて論じなさい。
3. アフリカの主要な燃料の一つに木炭がある。木炭の生産と消費の動向を、アフリカの都市化、環境問題、エネルギー事情などに照らしながら論じなさい。
4. フィールドワークではさまざまなデータを扱うが、データ解析では統計的な解析手法を駆使することが多い。平均値、標準偏差、変動係数、回帰分析、 t 検定、分散分析、カイ二乗検定、および一般化線型モデルのそれぞれについて、知るところを述べなさい。
5. アフリカで民族誌映画を撮影すると仮定し、対象とする国や地域、テーマについて説明しなさい。映画を撮影、公開するうえで、どのようなことに注意するかについても述べなさい。
6. サハラ以南アフリカで多発している人獣共通感染症対策と野生動物保全との関係について論じなさい。

令和 7 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

（Ⅲ）グローバル地域研究専攻（平和共生・生存基盤論）

設問Ⅰ．次のトピックのうち 2 つを選んで、それぞれについて説明しなさい。トピック毎に別の解答用紙を使用し、それぞれの解答用紙には選択したトピックの番号を記入しなさい。（各 20 点）

1. テクノ（サイバー）・リバタリアニズム
2. グローバル・サウス
3. 効果的利他主義
4. アントロポセン（人新世）
5. イスラーム主義運動と福祉
6. 権威主義体制

設問Ⅱ．次の 2 つの問題のうち 1 つを選び、解答しなさい。解答用紙には選択した問題の番号を記入しなさい。（60 点）

1. イギリスの人類学者ロビン・ダンバーは、人間が安定的な社会関係を構築・維持することのできる集団構成員の数の認知的な上限は 150 人程度（ダンバー数）だと論じている。それでは、世界各地で見られるダンバー数以上の構成員数で成る集団（国家、共同体、政党、サークルなど）において安定的な社会関係が構築・維持できているのはなぜだろうか。
2. 次の文章を読んで、自由に論じなさい。

[文章]（省略）

(出典：藤原帰一『戦争を記憶するー広島・ホロコーストと現在』講談社現代新書、2001年、153頁より抜粋)

- [文章] とは、藤原帰一『戦争を記憶するー広島・ホロコーストと現在』講談社現代新書、2001年の153頁3行目（「自分の夫・・・」）から、8行目（「・・・珍しくはない。」）までを指す。

令和 7 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

(IV) グローバル地域研究専攻（イスラーム世界論）

設問Ⅰ．次の言葉のうち、2 つを選んで、それぞれについて説明しなさい。解答ごとに別の解答用紙を使用し、それぞれの解答の第 1 行目には選択した言葉を記入しなさい。（各 25 点）

イスラーム市場

エジプト革命

クシャイリー

公正発展党

女性銀行

馬徳新

フェルガナ

メヴレヴィー教団

設問Ⅱ．イスラーム世界を対象とした学術研究を日本で行う意義と優位性について、イスラーム諸国や欧米におけるイスラーム世界研究のあり方と比較対照させながら、具体的事例とともに論じなさい。設問Ⅰとは別の解答用紙を使用しなさい。
(50 点)

令和 7 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

（Ⅴ）グローバル地域研究専攻（南アジア・インド洋世界論）

設問Ⅰ．次の用語のうち 2 つを選び、それぞれについて簡潔に説明しなさい（用語 1 つにつき、字数は 200 字から 250 字程度とします。ローマ字で解答する場合には字数制限は設けません）。2 つの解答を、同一の解答用紙に記入しなさい。それぞれの解答の第 1 行目には、選択した言葉を記入しなさい。（各 20 点）

サンスクリット化、サティ、リグ・ヴェーダ、四住期、氷河湖決壊、貧困、
インド人民党、報道の自由、ヴィナーヤク・ダーモダル・サーヴァルカル、
雇用なき成長

設問Ⅱ．下記の設問のうち 1 つを選び、論じなさい（字数は 800 字以上とします。ローマ字で解答する場合には字数制限は設けません）。解答用紙には選択した問題の番号を記入しなさい。（60 点）

1. 植民地主義と南アジアの「伝統」文化との関係を論じなさい。
2. インド首相を務めたインディラ・ガンディー（在任期間 1966-1977 年、1980-1984 年）は、自著のなかで「宗教を口実に、同胞から市民的諸権利を取り上げようとする人間は、人間の名に値しないと思います」（インディラ・ガンディー著、エマニュエル・プーシュパダス編（1981）『私の真実——自伝的回想』、佐藤房吉訳、評論社、128 頁）と述べました。この見解について、南アジアの一国、もしくは複数の国々の事例に基づいて自由に論じなさい。

3. 次の文章について、自由に論じなさい。

[文章] (省略)

(出典：中村哲『天、共に在り——アフガニスタン三十年の闘い』NHK 出版、2013 年、242-243 頁より抜粋)

- [文章] とは、中村哲『天、共に在り——アフガニスタン三十年の闘い』NHK 出版、2013 年の 242 頁 3 行目（「宮沢賢治が・・・」）から、243 頁 8 行目（「悪循環である。」）までを指す。

令和6年度（第2回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験

一次試験・専門科目問題冊子

- （注意） （１）日本語で解答してください。ただし、ローマ字を使用することもできます。その場合は、ブロック体を用いてください。
- （２）解答方法は、問題中の指示に従ってください。

令和 6 年度（第 2 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

（Ⅰ）アフリカ地域研究専攻

問題：以下の設問 1～6 から 2 問を選択して解答しなさい。設問ごとに別の解答用紙を使用し、それぞれの解答用紙には選択した設問番号を記入しなさい。（各 50 点）

1. アフリカにおける農村開発の現状と課題について、具体的な事例を用いて論じなさい。
2. 気候変動によってアフリカではどのようなことが問題になっているか。以下にあげる語句のうち、2 つ以上を取り上げながら論じなさい。

異常気象・海洋・感染症・経済開発・湖沼・砂漠・自然災害・死のリスク・森林・生態系
の変化・都市・農業生産性・人の移動・人の健康・氷河・紛争

3. 東アフリカの大地溝帯に位置する自然保護区などには、数多くの大型哺乳動物が生息する。そこでみられる、食物をめぐる競争の回避機構について説明しなさい。
4. アフリカでみられる使役動物と生業との関わりについて論じなさい。
5. 1990 年代後半以降のサハラ以南アフリカで若い世代を中心とした政治運動や社会運動が活発化した。こうした動きにはどのような背景や特徴があるか。事例を挙げて論じなさい。
6. 呪術的な儀礼・信仰はアフリカ社会のなかでどのように実践され、どのように人々の暮らしに関わっているか。特に近現代の社会的変容に着目し、具体的な事例を挙げながら論じなさい。

令和 6 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験

一次試験・専門科目問題冊子

- （注意）（１）日本語で解答してください。ただし、ローマ字を使用することもできます。その場合は、ブロック体を用いてください。
- （２）問題は、以下の（Ⅰ）～（Ⅴ）で構成されています。この中から自分が研究を志望する専攻（グローバル地域研究専攻については研究領域）について解答してください。志望する専攻（グローバル地域研究専攻については研究領域）以外の問題を選択することはできません。解答用紙の「地域欄」に（Ⅰ）～（Ⅴ）のいずれかを記入してください。
- （Ⅰ）東南アジア地域研究専攻
 - （Ⅱ）アフリカ地域研究専攻
 - （Ⅲ）グローバル地域研究専攻（平和共生・生存基盤論）
 - （Ⅳ）グローバル地域研究専攻（イスラーム世界論）
 - （Ⅴ）グローバル地域研究専攻（南アジア・インド洋世界論）
- （３）解答方法は、問題中の指示に従ってください。

令和 6 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

（ I ） 東南アジア地域研究専攻

問題：以下の設問 1～6 から 2 問を選択し、それぞれ 800 字程度で解答しなさい（ローマ字で解答する場合には字数制限は設けません）。また、設問ごとに別の解答用紙を使用し、それぞれの解答用紙には選択した設問番号を記入しなさい。（各 50 点）

1. 東南アジアの気候、植生、生態環境の特徴について説明しなさい。
2. 東南アジアにおける生物（または生物群集）と地域社会との関係について、1 つの国あるいは地域を例に挙げ、自由に論じなさい。
3. あなたが研究対象にしようと考えている国あるいは地域における 20 世紀後半以降現在までの宗教と国家の関係の変遷について、論じなさい。
4. あなたが研究対象にしようと考えている国あるいは地域における特定の社会事象を例に挙げ、「包摂」と「排除」の語を用いて論じなさい。
5. 東南アジア地域の現代史を経済発展、民主主義や権威主義の変化といった観点から具体的に論じなさい。
6. 東南アジアから 2 つの国を選び、政治経済システムを比較しながら、成長と分配面の課題について具体的に論じなさい。

令和 6 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験

一次試験・専門科目問題

（Ⅱ）アフリカ地域研究専攻

問題：以下の設問 1～6 から 2 問を選択して解答しなさい。設問ごとに別の解答用紙を使用し、それぞれの解答用紙には選択した設問番号を記入しなさい。（各 50 点）

1. フィールドワークではさまざまな計測器を使って測定を行う。下記の計測器から二つ選び、それぞれについて具体的な事象の例を挙げ、その測定値を得ることによりどのようにその事象の理解を深めることができるかを述べなさい。

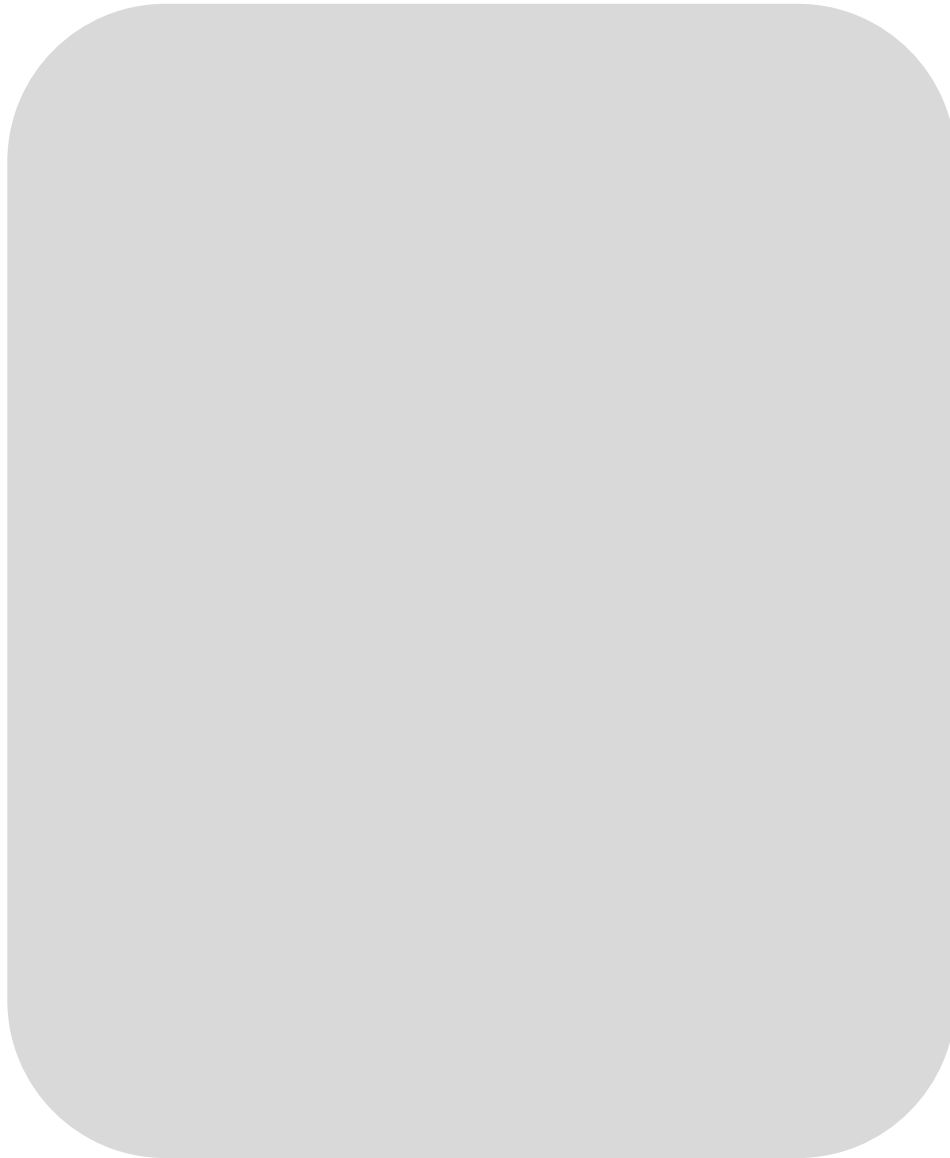
気圧計、吸光光度計、硬度計、湿度計、照度計、水深計、線量計、測高器、
濁度計、電気導電率計、二酸化炭素濃度計、ノギス、溶存酸素計、葉緑素計、
流速計、GPS受信機、pH計

2. サハラ以南アフリカにおける都市インフラの整備について、社会的包摂性が問われる事例を取り上げ、その社会的背景および対策について論じなさい。

3. インフォーマル部門は、アフリカ諸国の経済において大きな役割を果たしており、国によっては就業人口の 80%以上を占めるとされている。インフォーマル部門には、フォーマル部門と比較して、どのような特徴があるか述べなさい。具体的な活動を取り上げて説明してもよい。

4. アフリカにおいて、特定の地域内で利用されていたものが、グローバル市場に流通するようになったものを取りあげ、それが元の地域に与えた影響と課題について論じなさい。

5. 下の地図は、アフリカ大陸におけるツェツェバエの分布地域を示している。この地図を参照しながら、具体的な地域の人々の生業や暮らし、社会、歴史などについて自由に論じなさい。



(出典 : R. J. Reid. 2012. *Warfare in African History*. New York: Cambridge University Press.

MAP 3)

6. 近年、南アフリカにおけるセシル・ローズ像の撤去やガーナにおけるマハトマ・ガンディー像の撤去が起こったが、その社会的背景について論じなさい。なお、ローズ像とガンディー像の両方、あるいは一方のみを取り上げて論じて構わない。

令和 6 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

（Ⅲ）グローバル地域研究専攻（平和共生・生存基盤論）

設問Ⅰ． 次のトピックのうち 2 つを選んで、それに関する批判的な観点にも言及しつつ、それぞれについて説明しなさい。トピック毎に別の解答用紙を使用し、それぞれの解答用紙には選択したトピックの番号を記入しなさい。（各 20 点）

1. 生成 AI とウェルビーイング
2. 加速主義とポスト資本主義
3. 気候変動問題と民主主義
4. 構造的暴力
5. Planetary boundaries
6. コモンズとサイバー空間

設問Ⅱ． 次の 3 つの問題のうち 1 つを選び、解答しなさい。解答用紙には選択した問題の番号を記入しなさい。（60 点）

1. 新型コロナウイルス感染症は約 3 年にわたって私たちの活動にさまざまな制約を課した。私たちは、この経験を踏まえて、どのようなニューノーマルを構築すればよいのか。生存基盤論の立場から論じなさい。
2. 次の文章を読んで、自由に論じなさい。

〔文章〕（省略）

（出典：スティーブン・ピンカー『暴力の人類史 下』幾島幸子・塩原通緒訳、青土社、2015 年、188 頁より抜粋、一部改変）

● [文章] とは、スティーブン・ピンカー『暴力の人類史 下』幾島幸子・塩原通緒訳、青土社、2015 年の 188 頁 8 行目（「キングはすぐさま・・・」から、188 頁 18 行目（・・・効くのである。）までを指す。

3. アジア・アフリカでは、資本主義社会における利己と利他の二項対立的な関係性を超越する可能性を持つ新しい思想や実践が見られ始めている。そうした思想や実践の事例を 1 つ取り上げて、その可能性について論じなさい。

令和 6 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

(IV) グローバル地域研究専攻（イスラーム世界論）

設問Ⅰ．次の言葉のうち、2つを選んで、それぞれについて説明しなさい。解答ごとに別の解答用紙を使用し、それぞれの解答の第1行目には選択した言葉を記入しなさい。
(各 25 点)

オリガ・レベヂェヴァ

シャーズィリー教団

スーフイズムの四象限論

タワッルク

ミート・ガムル銀行

ムアーマラート

劉智

設問Ⅱ．イスラーム世界では、人やモノをめぐる独自のコネクティビティにもとづく思想・経済・社会実践が行われています。そうした実践の具体的事例を1つ取り上げて、その実態と特徴を論じなさい。設問Ⅰとは別の解答用紙を使用しなさい。(50 点)

令和 6 年度（第 1 回）

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入学試験
一次試験・専門科目問題

（Ⅴ）グローバル地域研究専攻（南アジア・インド洋世界論）

設問Ⅰ． 次の用語のうち 2 つを選び、それぞれについて簡潔に説明しなさい（用語 1 つにつき、字数は 200 字から 250 字程度とします。ローマ字で解答する場合には字数制限は設けません）。2 つの解答を、同一の解答用紙に記入しなさい。それぞれの解答の第 1 行目には、選択した言葉を記入しなさい。（各 20 点）

ヒンドゥー至上主義、感情労働、マオイスト、ヨーガ、水不足、マングローブ、先住民の権利、ダウリー（持参財）、ビームラーオ・アンベードカル

設問Ⅱ． 下記の設問のうち 1 つを選び、論じなさい（字数は 800 字以上とします。ローマ字で解答する場合には字数制限は設けません）。解答用紙には選択した問題の番号を記入しなさい。（60 点）

1. 次の文章について、自由に論じなさい。

[文章]（省略）

（出典：Jawaharlal Nehru, 1980[1936], *An Autobiography*, New Delhi:
Jawaharlal Nehru Memorial Fund, pp. 373-374 より抜出して訳出）

● [文章] とは、Jawaharlal Nehru, 1980[1936], *An Autobiography*, New Delhi:
Jawaharlal Nehru Memorial Fund の 373 頁 30 行目 (Again I watched) から、374 頁 3 行目 (・・・but in the long run?) までの訳出を指す。

2. 次の文章を読んで、身体と社会との関係について自由に論じなさい。

[文章] (省略)

(出典：M. モース『社会学と人類学Ⅱ』（有地亨・山口俊夫訳）弘文堂、1976年、150-151 頁より抜粋)

● [文章] とは、M. モース『社会学と人類学Ⅱ』（有地亨・山口俊夫訳）弘文堂、1976年の150 頁15 行目（消費の技法・・・）から、151 頁7 行目（・・・きわめて有益である。）までを指す。

3. 次の文章を読んで、インドのリプロダクティブ・ヘルス／ライツについて自由に論じなさい。

[文章] (省略)

(出典：松尾瑞穂「家族計画」、栗屋利江・井上貴子編『インド ジェンダー研究ハンドブック』東京外国語大学出版会、2018 年、246 頁より抜粋)

● [文章] とは、松尾瑞穂「家族計画」、栗屋利江・井上貴子編『インド ジェンダー研究ハンドブック』東京外国語大学出版会、2018 年の246 頁下段1 行目（インドで本格的に）から、246 頁下段14 行目（・・・反対運動も起きた。）までを指す。